

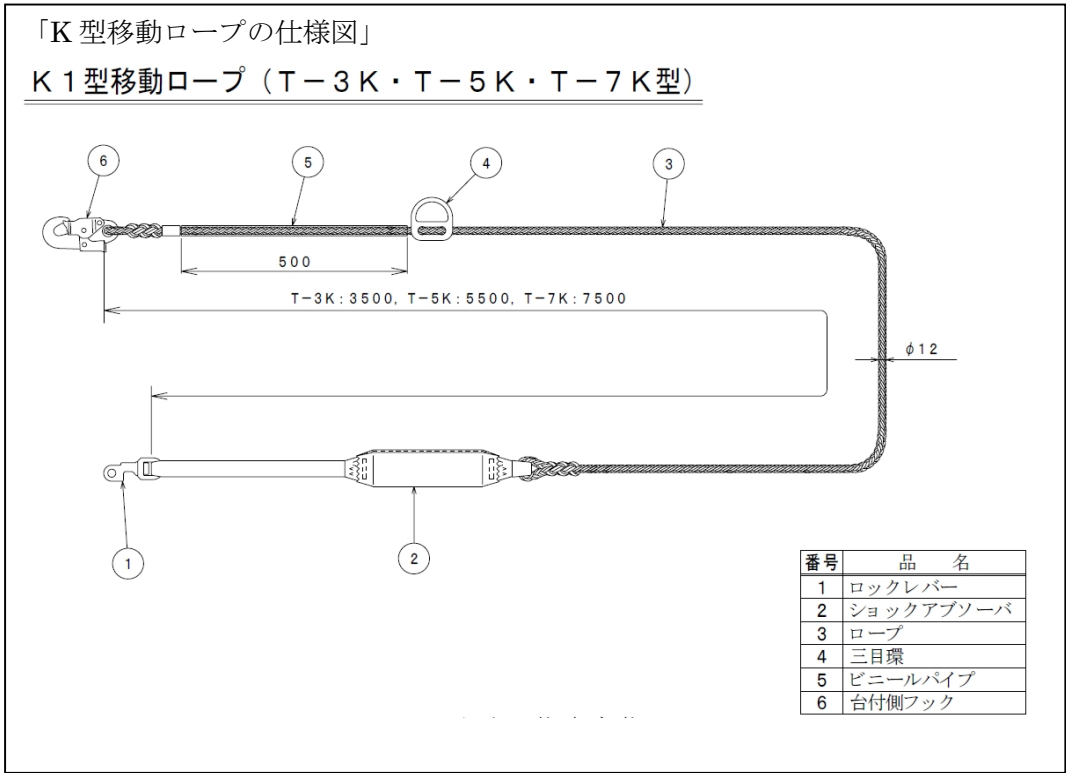
身体保持に対応できるフルボディハーネス仕様について(例)

	U字つり作業用		垂直面作業用	傾斜面作業用
	キーロック対応			
外観				
構造の説明	- フルボディハーネスの胸部に胸ベルト(柱上作業用安全帯)を組み合わせた仕様。 - 胸ベルトの左右に設けられた「環」にU字つり用ランヤードを連結する。 - U字つり用ランヤードにはロープ長さを調節するため伸縮調節器が備えられている。 - 胸部に墜落阻止具接続用の環を設けた仕様もある。		- ビルメンテ等のロープ高所作業に用いるハーネス型安全帯で、身体保持用の“メインロープ”と墜落阻止用の“ライフライン”を併用して使用する。 - 一般的には、身体保持器具としてブランコ台が使用されている。	- フルボディハーネスに傾斜面用ハーネスを組み合わせた仕様。 - 身体保持用の“メインロープ”と墜落阻止用の“ライフライン”を併用して使用する。 - 傾斜面用ハーネスのバックサイドベルトの左右に設けられた「環」にメインロープに取り付けたグリップのランヤードを連結して身体を保持させる。

K型移動ロープとは

現在、送電工事において標準工法となっている「キーロック方式安全ロープ」とは、ランヤードのフックに相当するロックレバーを備えた“K型移動ロープ”を鉄塔上等で定間隔に配置しておき、二つの挿入口を有するキーロック本体に、そのロックレバーを交互に差し込んで（一方のロックレバーを差し込むと他方のロックレバーが抜ける）、移動や昇降を行うことにより、常時構造物と接続された状態を確保することができます。

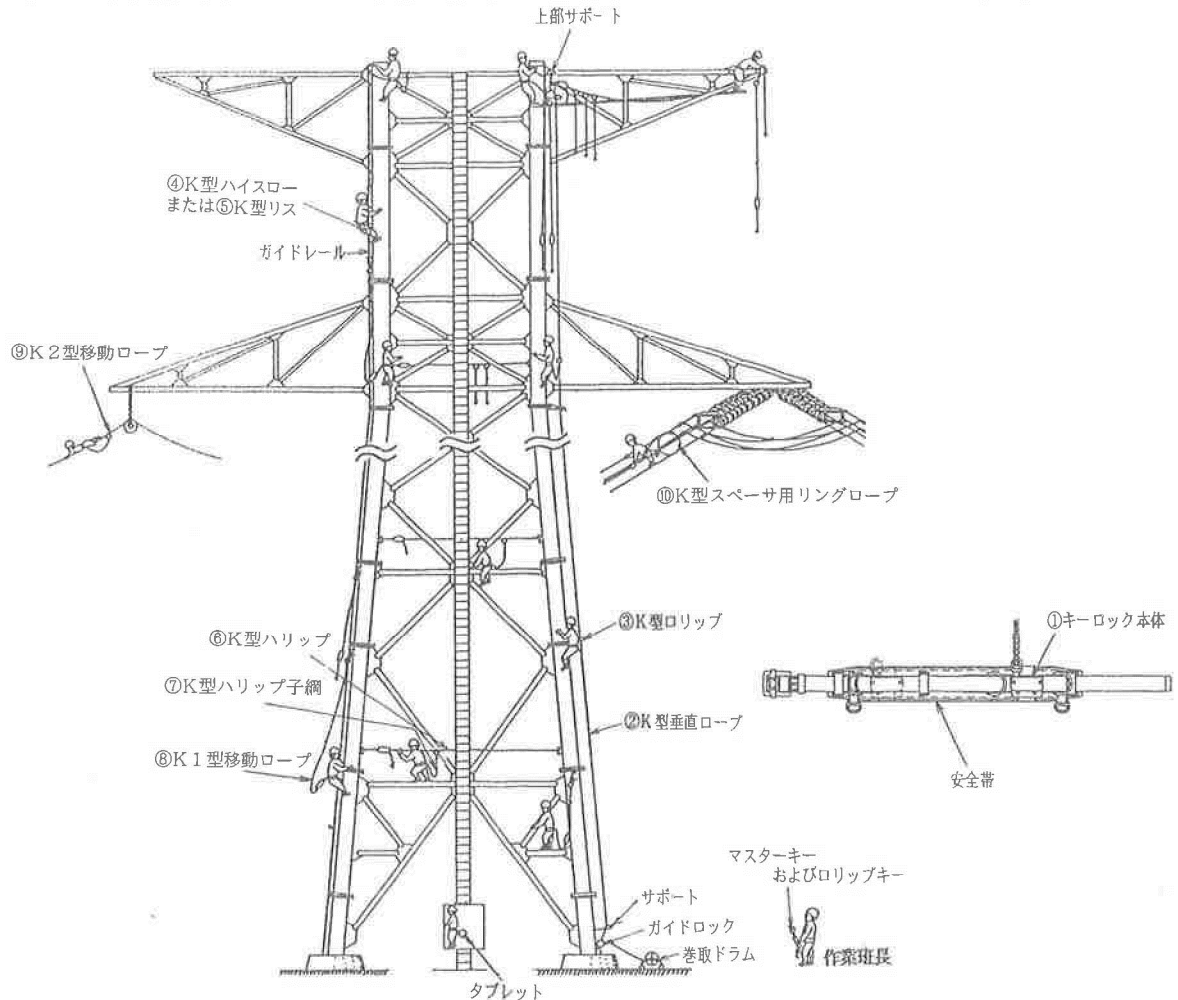
K型移動ロープは、安全帯の“一本つり専用ランヤード”と同等の役割ですが、当該ランヤードに比べ長尺（3～5m）な仕様であり、構造物に接続するためのフックと、作業者が着用した安全帯に接続するためのフックが設けられており、人体側にはショックアブソーバーが標準装備されています。



3. キーロック方式安全ロープの種類

3. 1 種類

キーロック方式安全ロープの種類は、第3. 1図、第3. 1表に示すとおりである。



第3. 1図 キーロック方式安全ロープの名称

第3. 1表 キーロック方式安全ロープの名称

① キーロック本体	⑦ K型ハリップ子綱
② K型垂直ロープ	⑧ K1型移動ロープ
③ K型ロリップ	⑨ K2型移動ロープ
④ K型ハイスロー	⑩ K型スペーサ用リングロープ
⑤ K型リス	
⑥ K型ハリップ	
⑪ 付属品	
・ハンドロープ	・K型ハリップ用サポート
・K1型移動ロープ用調節金具	・タブレット
・ロックレバー用防音カバー	・ガイドロック
・台付ロープ	・巻取ドラム
・サポート	・マスターキーおよびロリップキー
・上部サポート金具	